

地方独立行政法人下関市立市民病院

平成25事業年度に係る業務実績に関する評価結果

平成26年8月

地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会

# 目 次

はじめに	1
(i) 年度評価の方法	
(ii) 地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会 委員名簿	
(iii) 平成25事業年度に係る業務実績に関する評価を実施した経過	
<b>第1 全体評価</b>	<b>3</b>
1 評価結果	
2 判断理由	
3 総評	
<b>第2 大項目評価</b>	<b>5</b>
1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	
(1) 評価結果	
(2) 判断理由	
(3) 大項目中の主な事項	
2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	
(1) 評価結果	
(2) 判断理由	
(3) 大項目中の主な事項	
3 その他業務運営に関する重要事項	
(1) 評価結果	
(2) 判断理由	
(3) 大項目中の主な事項	
4 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	
(1) 評価結果	
(2) 判断理由	
(3) 大項目中の主な事項	
<b>第3 小項目評価</b>	<b>16</b>
1 評価結果等	

## 〈参考資料〉

- 貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書
- 地方独立行政法人下関市立市民病院に対する評価の基本方針
- 地方独立行政法人下関市立市民病院の年度評価実施要領
- 業務実績報告書の用語解説（50音順）
- 地方独立行政法人下関市立市民病院平成25事業年度に係る業務実績に関する評価結果〔小項目〕

## はじめに

### (i) 年度評価の方法

地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会（以下「評価委員会」という。）では、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第28条第1項の規定に基づき、地方独立行政法人下関市立市民病院（以下「法人」という。）の平成25事業年度に係る業務実績に関する評価を行った。

評価を行うにあたっては、「地方独立行政法人下関市立市民病院に対する評価の基本方針」並びに「地方独立行政法人下関市立市民病院の年度評価実施要領（以下「年度評価実施要領」という。）」（\*いずれも平成24年11月21日評価委員会にて決定）に基づき、「項目別評価（小項目評価・大項目評価）」と「全体評価」により評価した。

具体的には、「項目別評価」では、年度計画に定めた事項ごとに法人による自己評価をもとに、ヒアリング等を通じて、自己評価の妥当性や年度計画に照らし合わせた中期計画の進捗状況を確認した。また、「全体評価」では、項目別評価の結果等を踏まえつつ、法人化を契機とした病院改革の取り組み等を考慮しながら、中期計画等の進捗状況について総合的な評価を行った。

### (ii) 地方独立行政法人下関市立市民病院評価委員会 委員名簿

	氏名	役職等
委員長	弘山直滋	一般社団法人下関市医師会 顧問
委員	飯野英親	西南女学院大学 教授
	林登季子	下関市連合婦人会 会長
	杉浦勝章	公立大学法人下関市立大学 准教授
	佐々木直隆	株式会社佐々木総研 代表取締役

(iii) 平成25事業年度に係る業務実績に関する評価を実施した経過

日 程	審議議題
第1回 平成26年7月 9日(水) 市民病院2階講堂	(1) 平成25年度財務諸表等の報告について (2) 平成25事業年度業務実績報告書について
第2回 平成26年7月18日(金) 市民病院2階講堂	(1) 中期計画の取扱いについて (2) 財務諸表の承認の際の意見書の確認について (3) 平成25事業年度業務実績報告に関する評価 (小項目)について
第3回 平成26年8月 7日(木) 市民病院2階講堂	(1) 平成25事業年度の業務実績に関する評価 (案)について ・小項目評価(案、コメントを含む) ・大項目評価(案) ・全体評価(案)

## 第1 全体評価

### 1 評価結果

「中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。」とする。

### 2 判断理由

4つの大項目評価の結果は、「A評価」が1つ、「B評価」が1つ、「C評価」が2つであった。

業務全般については法人の経営努力が見られ、入院収益が前年度比で105.6%増、外来収益は107.5%増となり、医業収益は前年度比で106.1%の73億7,858万6,523円と順調に推移した。しかしながら、医業費用では人件費や材料費の増加により、財務面では、決算収支及び現金収支がともに計画を下回る結果となった。

また、DPCについては、平成26年度からの対象病院への移行準備を進めてきたが事務手続きに遺漏が生じたため、中期計画期間中に対象病院へ移行することが出来なくなり、業務運営等において課題が残った。

本来、医療の質と病院経営の質とは車の両輪であり、一方だけで成り立つものではなく、業務運営の改善及び効率化、財務内容の改善については中期目標期間中の最重要課題の一つでもあることから、全体評価では中期計画の遅れを重視し評価したものである。

#### 【大項目評価の結果】

大項目	評価	
1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	B	概ね計画どおり進んでいる。
2 業務運営の改善及び効率化に関する事項	C	やや遅れている。
3 その他業務運営に関する重要事項	A	計画どおり進んでいる。
4 予算（人件費の見積りを含む）、収支計画及び資金計画	C	やや遅れている。

(参考)

	S	A	B	C	D
大項目 評価基準	特筆すべき 進捗状況に ある。	計画どおり 進んでいる。	概ね計画ど おり進んで いる。	やや遅れて いる。	重大な改善 事項がある。

### 3 総評

法人化後、2年度目の取組状況としては、継続して地域がん診療連携拠点病院や災害拠点病院として、下関医療圏での役割を果たすべく市民公開講座や医療従事者向けの研修会、新たに市民の保健室を実施したほか、新型インフルエンザ等対策特別措置法に係る山口県での指定地方公共機関となり、市民や関係機関から信頼され質の高い医療が提供できるよう取り組みを行っている。また、昨年から救急科医師2名を配置し、救急医療体制の充実を図るとともに、5疾病5事業については下関地域の中核病院としての役割を果たしてきた。さらに、患者サービスを充実するため、売店の運営をコンビニ化する等、生活環境に配慮した取り組み等も行っており、一定の成果が伺える。

しかしながら、平成25年度の業務全体としては、2つの大項目において、昨年度の評価を下回る結果となっていることから、計画達成に向けてやや遅れているという評価が妥当であると判断した。

経営面については、医業収益は増収となったが、医業費用について人件費及び材料費等が抑えきれなかったため、赤字幅は大幅に減少したが黒字化は達成できなかった。また、業務運営面において、事務の遺漏によりDPC対象病院への認定が受けられなかったことについては、理事長をはじめ職員全員が一体となって、目標達成に向けて取り組むという姿勢が足りないと言わざるを得ません。今後は、これまで以上に運営管理体制を強化するとともに、経営の健全化及び経営基盤の強化を図って行く必要がある。

最後に、平成25年度の評価結果を十分に踏まえ、法人の特色を活かし、中期計画に掲げた目標を着実に実施するための目標管理をしっかりと行いながら、病院運営の更なる改善に努められ、より一層市民から信頼される病院となるために積極的な取り組みを期待するものである。

## 第2 大項目評価

### 1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

#### (1) 評価結果

**B評価** (中期計画の達成に向けて概ね計画どおり進んでいる。)

#### (2) 判断理由

評価「3」から評価「5」までの小項目評価の割合が9割以上であることから、年度評価実施要領に基づき、「中期計画の達成に向けて概ね計画どおり進んでいる。」と判断し、「B評価」とする。

なお、評価対象項目全30項目中、「5」の評価を付けたものが1項目、「4」の評価を付けたものが18項目、「3」の評価を付けたものが8項目、「2」の評価を付けたものが2項目、「1」の評価を付けたものが1項目となった。

#### 【小項目評価の集計結果】

分野	評価対象 項目数	評価結果ごとの項目数				
		5. 大幅に上 回っている	4. 上回って いる	3. 順調に実施 している	2. 十分に実施 できていない	1. 大幅に下回 っている
医療サービスの向上	20	1	10	6	2	1
地域医療への貢献 と医療連携の推進	7		5	2		
法令の遵守と情報 公開	3		3			
合計	30	1	18	8	2	1

\* 法人の自己評価に対して、異なった評価となった項目は、次の2項目であった。

#### ○「医療サービスの向上」分野

- ・ 認定看護師の育成 (項目番号: 14)  
(自己評価「3」→「2」)
- ・ 市民のニーズにあった予防医療の充実 (項目番号: 20)  
(自己評価「4」→「5」)

なお、「項目番号」とは、49項目ある小項目の通し番号を指す。(以下、同様)

(3) 大項目中の主な事項

① 小項目評価が「5」(年度計画を大幅に上回って実施している。)の項目は、次の1項目であった。

ア 市民のニーズにあった予防医療の充実(項目番号:20)

10月より多職種からなる糖尿病チームによる糖尿病教室を実施するとともに、敷地内禁煙開始に伴う禁煙外来を8月から保険適用にて実施し、生活習慣病の予防に努めた。

健診件数(人間ドック含む)については、24年度実績より309件増、計画よりも335件増の1,935件と大幅に上回って実施しており評価できる。

② 小項目評価が「4」(年度計画を上回って実施している。)の項目は、次の18項目であった。

ア 褥瘡チームなどによる、患者に最適な治療方針の検討(項目番号:2)

各分野に専門医を配置したほか、皮膚・排泄ケア、感染管理、摂食・嚥下、緩和ケア、がん化学療法看護の7名の認定看護師も含め専門的な医療を提供してきた。

褥瘡対策と栄養サポートを行うNSTの委員会を合同で開催し、院内ラウンドも行った。

栄養士を病棟制にすることにより、患者の嗜好への配慮とそれぞれの病状に沿った栄養指導を行い、入院時において治療食の重要性と退院後の食生活が適切なものに改善するように、説明を十分に行った。

特に栄養指導件数が倍以上になっているので、相当努力している。

イ 薬剤師による服薬指導の充実(項目番号:4)

手術予定の外来患者が安全に手術を受けられるよう、術前中止薬の鑑別に加え、服薬指導を実施し、服薬指導件数については、平成24年度実績より9.2%増とかなり増えている。

なお、この外来手術予定患者における術前中止薬の休薬指導と薬薬連携による中止薬一包化再調剤の取り組みについては、注目が高く全国学会において発表を行ったことは評価できる。

薬剤師のマンパワーが増えていないのに件数が増えているので、か



なり努力している。

ウ 院内ボランティアの活用による、患者目線に立ったサービスの向上  
(項目番号： 8 )

ボランティア募集を継続的に行い人員の確保に努めた。院内ボランティアと病院職員が協力し、患者に安心して受診をしてもらえるよう外来患者の案内等を実施した。

また、毎週水曜日に寄贈図書をワゴンに載せて病棟を巡回して貸し出しを行う移動図書をボランティアの協力により実施し、引き続き患者の目線に立ったサービスの向上に努めた。

ボランティアの数も増えており、非常に良い方向に向いているので、引き続き良い印象を持っていただけるよう取り組んでいきたい。

エ 売店のコンビニ化による、患者や来院者の利便性の向上と、職員への福利厚生の充実 (項目番号： 10)

売店のコンビニ化を実施し、ローソンが7月より営業開始した。また、患者が必要な医療品を販売してもらうように依頼し、患者に対しての利便性の向上に努めた。

患者アンケートにコンビニの項目を入れて、取り扱ってほしい商品の要望を聞いていただくなど、患者のニーズ等を調査して、今後もより良いものにしていただきたい。

オ 7対1看護配置基準移行に必要な看護師の計画的な確保  
(項目番号： 13)

看護師の人材確保のため、看護実習生を受け入れ、教育機関等との連携強化に努めた。

特に人材確保については、就職説明会への参加や病院見学会の開催など、積極的に病院のPRに努め、平成26年4月採用の職員は32人(うち新卒26名)と昨年を上回る採用となり、平成26年度中の7対1看護配置基準への移行の準備を整えた。また、看護師奨学金制度による入職者も3名と新卒看護師の確保に寄与するなど、看護師の確保に努力している。

カ 看護師、医療技術職員など医療スタッフの院外研修への積極的な参加  
(項目番号：15)

人材育成は重要な課題であり、モチベーションや専門性の維持・向上を図るため、積極的に院外研修に参加させた。

特に、看護部においては、認定看護管理者教育課程に6名（ファーストレベル5名、セカンドレベル1名）を参加させ、看護管理者の資質と看護の水準の維持及び向上に努めた。

キ 治験による新薬の開発への貢献(項目番号：16)

新薬の開発に貢献するための治験については、GCP 省令により設置が義務づけられている治験審査委員会において、倫理的、科学的及び医学的観点から審議を行った。平成25年度においては、計12回の審議を行い、継続実施している5件に加え、新たに2件の治験が承認され、件数が増えているので、引き続き貢献できるように努力していただきたい。

ク 老朽化した医療機器の計画的な整備・更新(項目番号：17)

中期計画の年度計画に基づき、手術台や手術用生体情報モニターなど、老朽化した医療機器が整備・更新された。

ケ 当番日以外の日においても断らない救急体制の整備(項目番号:18)

救急科2名の医師を中心に、輪番制による当番日を中心に救急患者の受け入れを行った。

また、今年度も下関市消防局より救急救命士延べ20名及び気管挿管実習1名を受け入れ、地域の救急医療のレベルアップに貢献した。

常勤の救急医が入って来て、よく頑張っていると思うが、市民病院にとって救急は大きな使命であるので強化していただきたい。

コ 小児科医師の確保による小児医療の維持(項目番号：19)

小児科医は引き続き常勤2名体制で、小児医療体制を維持することができた。

当番日での受け入れ体制も常勤2名による体制となり、輪番制により受け入れを行っている。

常勤の医師がいて、2次救急として受入体制を維持していることで安心感があり、市の病院としての役割を果たしているため、今後も小

児科の医師確保に努めていただきたい。

サ 高度医療機器の効率的・効果的な更新（項目番号：21）

中期計画の年度計画に基づき、ハイビジョン内視鏡カメラシステム、外科用イメージ装置など、高度医療機器が整備された。

手術件数が増え、アウトカムが出ていることから、順調に効果が出ている。

シ 悪性腫瘍などの疾病について、高度医療への取り組み（項目番号：22）

地域がん診療連携拠点病院として、高度医療の充実に努めるとともに、放射線治療や化学療法に関して医療従事者向けの研修会を4回主催し、地域の医療機関との連携強化を行ったほか、皮膚・排泄ケア認定看護師を中心に、ストーマ外来で人工肛門・人工膀胱造設後の日常生活が快適に送れるようケアを行った。

今後も、地域がん診療連携拠点病院として相応しい体制を構築していただきたい。

ス 4疾病5事業において、下関医療圏の中核病院としての役割（項目番号：25）

5疾病については、地域がん診療連携拠点病院としての役割を果たすとともに、脳卒中については地域連携クリニカルパスに参加している。また、糖尿病教室により糖尿病予備軍においても生活習慣病の改善に努め、急性心筋梗塞の予防にも寄与している

5事業については、救急告示病院、災害拠点病院、へき地医療拠点病院に指定されており、下関医療圏の中核病院としての役割を果たすべく、質の高い医療の提供に努めている。

引き続き中核病院としての意識を持って頑張ってください。

セ 病診連携を積極的に推進し、紹介率、逆紹介率の向上（項目番号：26）

地域連携クリニカルパスについては、脳卒中及び大腿骨頸部骨折（10月～）を積極的に適用し、地域の医療機関と連携した。

また、下関地域医療連携情報システム（奇兵隊ネット）に参加することにより病診連携を推進し、紹介患者の獲得に努めた。

地域医療支援病院の認定基準が上がったので、引き続き紹介率と逆紹介率を増やしていただきたい。

ソ ヘき地医療への支援（項目番号：27）

蓋井島には毎月1回の巡回診療及び年1回の歯科診療を実施し、豊田中央病院へは月1回角島診療所に診察に行くなど、へき地医療を支えている。

併せて、豊田中央病院へは、研修と支援を兼ねて当院の研修医を派遣したことは評価できる。

タ 医療法をはじめとする関係法令の遵守（項目番号：28）

平成26年2月に下関保健所により医療監視が行われ、医療法等関係法令に基づいて適正に運営が行われていることが確認された。

倫理委員会では17件の臨床研究等について倫理審査を行った。

安全管理委員会を月1回開催するとともに、リスクマネジメントなどの各部会において、医療安全についての情報収集・分析・改善・対策・検討を総括的に行った。

また、医療現場での倫理的・法的な課題について、院内に向けての研修会を18回実施するとともに、医療安全分野に長けた外部講師による講演会も行ったことは評価できる。

チ 個人情報の保護（項目番号：29）

個人情報保護については、下関市個人情報保護条例及び法人規程に基づき適切に対応した。

平成25年度は患者本人又は家族からの診療録（カルテ）等の開示請求が31件あり、そのうち28件の情報を開示している。

個人情報に関しての廃棄に対しても、一般ごみと完全に排出方法を変える等継続した取り組みを実践していることは評価できる。

ツ 情報公開（項目番号：30）

情報公開については、下関市情報公開条例及び法人規程に基づき適切に対応したことは評価できる。

## 2 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### (1) 評価結果

**C 評価** (中期計画の達成のためにはやや遅れている。)

### (2) 判断理由

評価「3」から評価「5」までの小項目評価の割合が9割未満であることから、年度評価実施要領に基づき、「中期計画の達成のためにはやや遅れている。」と判断し、「C評価」とする。

なお、評価対象項目全14項目中「4」の評価を付けたものは5項目で、「3」の評価を付けたものが5項目、「2」の評価を付けたものは4項目となった。

#### 【小項目評価の集計結果】

分野	評価対象 項目数	評価結果ごとの項目数				
		5. 大幅に上 回っている	4. 上回って いる	3. 順調に実施 している	2. 十分に実施 できていない	1. 大幅に下回 っている
運営管理体制の構築	2			2		
効率的、効果的な 業務運営の確立	3		2		1	
収入の確保	6		2	3	1	
魅力的な人事制度 の整備	3		1		2	
合計	14		5	5	4	

\* 法人の自己評価に対して異なった評価となった項目は、次の1項目であった。

#### ○ 「収入の確保」分野

- ・ 病床利用率の向上 (項目番号：36) (自己評価「3」→「2」)

(3) 大項目中の主な事項

① 小項目評価が「4」（年度計画を上回って実施している。）の項目は、次の5項目であった。

ア 委託業務の発注形態の見直しに向けての準備（項目番号：33）

病院管理業務について、平成26年度からの分割発注に備え、院内プロジェクトチームによる内容精査を行い、業務の整理とともに経費の削減を図ったことは評価できる。

イ ベンチマークの活用による価格交渉の徹底と費用の削減  
（項目番号：35）

実績のあるコンサルタント会社に薬品・診療材料等の経費削減支援業務を委託し、経費削減を行った。

業務内容として、コンサルタント会社が所有するベンチマークシステムを利用し、購入価格の比較・分析を行い、納入業者等に対し価格交渉を行うことで納入価格の削減に努めた。これにより、院内各部門との協力体制が構築でき、購入価格に対する意識を共有することが出来たことは評価できる。

ウ 老朽化した医療機器の再整備と、入院単価及び外来単価の向上  
（項目番号：37）

医療機器の更新を行い、医療の質の向上に努めることにより、入院診療単価及び外来診療単価の向上を図ったことは評価できる。

エ 未収金とならない対策（項目番号：40）

医療費の会計を行わない時間帯（午前0時～午前8時）において、預り金にて診療費を預り、未収金とならない対策を講じたことは、夜間救急は診療費が取れない場合が多い中で評価できる。

オ 業績評価に応じた人事評価による新しい給与制度の確立  
（項目番号：42）

医師人事評価制度については、仕事の貢献度に報いること及び貢献度に応じた処遇を行うことを目的として、行動評価、業績評価、特別加算の3項目により、その年度における評価結果を年度末の医師貢献手当の支給額に反映させることとし、平成26年度の実施に向けて準備

を行った。

業績評価については面接が非常に大切だと思うので、フォローをしっかりやっていただきたい。

### 3 その他業務運営に関する重要事項

#### (1) 評価結果

**A評価** (中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。)

#### (2) 判断理由

すべての小項目評価が評価「3」から評価「5」までの範囲内にあることから、年度評価実施要領に基づき、「中期計画の達成に向けて計画どおり進んでいる。」と判断し、「A評価」とする。

なお、評価対象項目全4項目中、「4」の評価を付けたものが3項目となった。

#### 【小項目評価の集計結果】

分野	評価対象 項目数	評価結果ごとの項目数				
		5. 大幅に上 回っている	4. 上回って いる	3. 順調に実施 している	2. 十分に実施 できていない	1. 大幅に下回 っている
地域医療センター (仮称)の整備	1			1		
災害及び感染症流行 時における対応	2		2			
医療の普及啓発及 び情報発信	1		1			
合計	4		3	1		

\*法人の自己評価に対して異なった評価となった項目はなかった。

(3) 大項目中の主な事項

① 小項目評価が「4」（年度計画を上回って実施している。）の項目は、次の3項目であった。

ア 災害拠点病院としての役割（項目番号：46）

「下関市立市民病院災害対策マニュアル」により、不測の事態に対応できるよう体制を整備している。

大規模災害発生による緊急時にも医療機能を維持するために院内の防災訓練を実施するとともに、下関市等が実施する防災訓練に参加し、災害時に迅速に対応できる体制づくりに努めた。また、日本DMAT 隊員養成研修を看護師1名が受講し、DMATの体制強化が図れた。

引き続き体制強化を図っていただきたい。

イ 第二種感染症指定医療機関としての役割（項目番号：47）

下関市立市民病院感染管理指針に基づき、安全で質の高い医療の提供に努めた。

また、第二種感染症指定医療機関として、平成26年1月に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく地方指定公共機関の指定を受け、新型インフルエンザ等発生時に迅速な体制がとれるよう診療継続計画を策定した。

感染管理委員会を月1回定期開催するとともに、小委員会を臨時で計10回開催して臨機応変に院内感染防止対策を推進した。

感染防止講演会を全職員に対し年2回開催し、職員に感染防止教育を行うことで職員の意識を高めた。また、各部門にて研修会を随時開催した。

感染防止対策加算1及び感染防止対策地域連携加算を届け出た連携医療機関と年6回の合同カンファレンスを開催し、感染防止対策に関する情報共有や意見交換、相互評価を行った。

下関地域における感染防止対策に係る医療機関ネットワークを構築するため開設したメーリングリストシステムにより、参加病院に対し、県や学会等から入手した感染症情報を毎週発信するとともに、相互の情報交換を行った。

地域の医療従事者に対し感染防止講演会の案内や院内ラウンド見学の受け入れを随時行い地域の感染防止対策の支援を行ったことは評価できる。



ウ 医療の普及啓発及び情報発信（項目番号：48）

年2回、がんについての正しい知識と情報の提供を図るため、市民を対象にがん医療市民公開講座を開催し、がん医療に関する情報の普及啓発に努めた。

市民の保健室を開催し、看護師による血圧測定や健康相談、お薬相談、血管・肺年齢測定、病院食試食、院内コンサートなどを行い、医療に関する情報の普及啓発に努めた。

年々受講者が多くなっていることは評価できる。

#### 4 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

(1) 評価結果

**C評価**（中期計画の達成のためにはやや遅れている。）

(2) 判断理由

評価「3」から評価「5」までの範囲内にある小項目評価の割合が9割未満であることから、年度評価実施要領に基づき、「中期計画の達成のためにはやや遅れている。」と判断し、「C評価」とする。

なお、評価対象項目全1項目中、「2」の評価を付けたものが1項目となった。

#### 【小項目評価の集計結果】

分野	評価対象 項目数	評価結果ごとの項目数				
		5. 大幅に上 回っている	4. 上回って いる	3. 順調に実施 している	2. 十分に実施 できていない	1. 大幅に下回 っている
予算（人件費の見 積りを含む。）、収 支計画及び資金計 画	1				1	
合計	1				1	

\* 法人の自己評価に対して異なった評価となった項目はなかった。

(3) 大項目中の主な事項

① 小項目評価が「2」(年度計画を十分に実施できていない。)の項目は、次の1項目であった。

ア 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画  
(項目番号: 49)

決算収支と現金収支が共に計画を下回った。

また、中期目標である、「中期目標期間中に地方公営企業会計制度基準における経常収支比率100パーセント以上を達成すること。」に対して、今年度の実績が計画を下回った。

経常収支比率が100%を超えるように、引き続き努力していただきたい。

### 第3 小項目評価

#### 1 評価結果等

別紙、「地方独立行政法人下関市立市民病院 小項目評価一覧表」  
(P17~P23)のとおり。

地方独立行政法人下関市立市民病院 小項目評価一覧表

(注)項目番号

NO. (注)	年度計画	法人 評価	評価委員会 評価結果	コメント欄
第1 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項			大項目評価	
1 医療サービスの向上			B	
(1)患者中心のチーム医療の充実				
1	・患者自らが受ける医療を十分理解し、納得の上で自分にあった治療法を選択できるようインフォームド・コンセントの徹底を図る。	2	2	同席者のサインを徹底するように努めてもらいたい。
2	・褥瘡チーム、感染管理チーム、呼吸ケアチーム、栄養サポートチーム(NST)など、専門スタッフがそれぞれの知識を持ち寄って、総合的、専門的な診療を行うことにより、患者に最適な治療方針を検討する。	4	4	相当努力している。
3	・標準的かつ効率的な医療を推進し、患者の負担軽減を図るため、クリニックパスの積極的な活用に取り組む。	3	3	クリニックパスの件数が前年度実績より下がっている。更に増やすよう努力してほしい。
4	・患者が安心かつ効果的に服薬できるよう、薬剤師による服薬指導を充実する。	4	4	薬剤師と現場の指導内容を徹底してほしい。
5	・MSW(医療ソーシャルワーカー)を増員し、相談支援体制の充実を図ることにより、患者が安心して退院できる体制を作る。	3	3	体制は強化しているので、実績を増やしていただきたい。
(2)患者サービスの向上				
6	・患者満足度(CS)調査を年2回行い、患者サービスの向上に反映させる。なお、外来患者の診療待ち時間については、平成24年度の実績をもとに院内CS委員会において対策を検討する。	3	3	予約患者を優先するなど、眼科では工夫していることがわかる。他の診療科でも努力してほしい。
7	・平成25年3月より導入したクレジットカード決済のPRに努め、患者が医療費を支払いやすい環境を整備するとともに、未収金の発生防止に努める。	3	3	未収金が発生した場合、回収費用等がかかるので、未収金の発生防止のためにクレジットカードを役立てていただきたい。

NO. (注)	年度計画	法人 評価	評価委員会 評価結果	コメント欄
8	・院内ボランティアを有効的に活用することにより、常に市民や患者の目線に立ったサービスの向上に努める。	4	4	引き続き良い印象を持っていただくように、ボランティアの方に頑張ってもらいたい。
9	・いつでも患者が納得した治療を受けることができるようセカンドオピニオンへの適切な対応を行う。	3	3	今後、件数を積極的に増やしていただきたい。
10	・売店をコンビニ化することにより、患者や来院者の利便性を図るとともに、職員への福利厚生も充実させる。	4	4	患者のニーズ等を調査して、今後もより良いものにしていただきたい。
(3)急性期病院としての機能の充実				
11	・平成26年4月にDPC対象病院へ移行するための準備作業を行うとともに、情報分析ツールを活用し、他病院との診療情報データの比較分析を行うことにより、医療の質の向上に努める。	1	1	DPCが取れていないので、中期計画全体との整合性が取れない。
(4)医療スタッフの確保と専門性や医療技術の向上				
12	・医師に選ばれる病院となるよう、共同研究テーマを設定するなど、大学医局との連携強化を図る。	3	3	研修医が定着していることは評価出来る。
13	・市内、県内外の看護学校との連携を図り、看護実習受入施設としての機能充実を図ることにより、新卒者の獲得に力を入れ、7対1看護配置基準移行に必要な看護師を計画的に確保する。	4	4	看護師の確保に努力している。
14	・認定看護師の育成については、計画的かつ戦略的に行うとともに、職員が資格を取得する際には積極的な支援を行う。	3	2	診療科の重点配分に合わせた認定看護師の育成が必要である。

NO. (注)	年度計画	法人 評価	評価委員会 評価結果	コメント欄
15	・医療職の専門性を高めるため、看護師、医療技術職員など医療スタッフを、院外の研修に積極的に参加させる。	4	4	院外の研修によく参加しており、特に管理者の再教育は喫緊の課題である。
16	・治験については、倫理的、科学的及び医学的見地からの妥当性を十分調査し、新薬の開発に貢献する。	4	4	治験の件数が増えているので、引き続き貢献出来るように努力していただきたい。
(5)医療機器の計画的な整備及び更新				
17	・老朽化した医療機器を計画的に整備・更新することにより、医師のモチベーションを高めるとともに医療の質を高める。	4	4	医療機器を整備してアウトカムを出すことが出来れば出していただきたい。
(6)救急医療の取組み				
18	・医師等の人的資源を確保し、輪番制による当番日はもとより、当番日以外の日においても断らない救急体制の整備に努める。	4	4	実績数も増えており、断診の数も半減している。
19	・小児科においても医師の確保に努め、市民のニーズが高い小児救急の維持に努める。	4	4	今後も小児科の医師確保に努めていただきたい。
(7)予防医療の充実				
20	・企業健診や人間ドックなどを効率的かつ効果的に行うことにより、市民のニーズにあった予防医療の充実を図る。	4	5	計画より大幅に上回っている。
2 地域医療への貢献と医療連携の推進				
(1)高度医療の充実				
21	・高度医療機器の更新については、効率的かつ効果的に実施する。	4	4	手術件数も増え、順調に効果が出ている。
22	・市民のニーズが多い新生物系(悪性腫瘍など)、循環器系や筋骨格系の疾病について、市民病院としての高度医療に取り組む。	4	4	

NO. (注)	年度計画	法人 評価	評価委員会 評価結果	コメント欄
(2)がん医療の充実				
23	・地域がん診療連携拠点病院として、平成25年度の認定更新を行うとともに、市民公開講座を年2回開催するなど、引き続きがんに関する情報を発信する。	3	3	引き続き努力してほしい。
24	・がんの地域連携クリニカルパスを引き続き推進し、地域連携の強化に努めるとともに、がん専門相談員を整備し、がん患者に対しての相談体制の充実を図る。	3	3	法人として、これからどのくらい力を入れていくのか検討してほしい。
(3)地域の医療機関との連携強化				
25	・山口県保健医療計画にも示されている4疾病(がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病)5事業(救急医療、災害医療、へき地医療、周産期医療、小児医療)において、下関医療圏の中核病院としての役割を果たす。	4	4	引き続き中核病院としての意識を持って頑張っていたきたい。
26	・地域連携クリニカルパスの活用と合わせて、地域医療連携情報システムへ参加することにより、病診連携を積極的に推進し、紹介率、逆紹介率の向上に努める。	4	4	実績としては増えているが、基準が上がっているので、引き続き紹介率と逆紹介率を増加させるようにしていただきたい。
(4)へき地医療への支援				
27	・へき地(蓋井島)への医師派遣を継続するとともに、市立豊田中央病院とも連携を図り、へき地医療への支援を積極的に行う。	4	4	
3 法令の遵守と情報公開				
(1)法令と行動規範の遵守				
28	・市立病院として、医療法を始めとする関係法令を遵守するため、法人としてのコンプライアンス推進指針により法人職員(委託業者を含む。)全員に徹底する。	4	4	

NO. (注)	年度計画	法人 評価	評価委員会 評価結果	コメント欄
(2) 情報の開示				
29	・診療録(カルテ)等については適正に管理するとともに、個人情報の保護については、電子カルテなど電子媒体によるものはもとより、電子カルテ移行前の紙カルテについても万全を期す。なお、開示請求があった場合には、法人規程により適切に対処する。	4	4	適切に処理されている。
30	・情報公開については、法人規程により適切に対処する。	4	4	
第2 業務運営の改善及び効率化に関する事項 1 運営管理体制の構築			大項目評価 <b>C</b>	
31	・診療報酬の改定や患者の意向調査などを踏まえた経営戦略を実行するため、経営企画部門の体制を強化する。	3	3	DPCへの申請を逃したので正しく機能していない。
32	・理事長の決定を補佐する理事会を定期的を開催するとともに、理事の役割分担を明確にすることにより、迅速かつ適切な意思決定を行う。	3	3	申請等の業務管理を厳密にしてほしい。
2 効率的、効果的な業務運営の確立				
33	・委託業務については、平成26年度の発注形態の見直しに向けての準備を行う。	4	4	
34	・複数年契約を有効的に活用することにより費用の削減を図る。	2	2	引き続き努力していただきたい。
35	・診療材料などの購入にあたっては、業者委託によるベンチマークを活用することにより、価格交渉の徹底を図り費用の削減を図る。	4	4	

NO. (注)	年度計画	法人 評価	評価委員会 評価結果	コメント欄
3 収入の確保				
36	・地域連携室を中心に病床管理を効率的に行うことにより、病床利用率の向上を図る。	3	2	現在の入院単価を考えると病床利用率は85%以上は必要ではないか。
37	・老朽化した医療機器を再整備し、医療の質を向上するとともに入院単価及び外来単価の向上を図る。	4	4	
38	・医療事務経験者や診療情報管理士などをプロパー職員として採用することにより医事業務の専門化を図る。	3	3	順調に採用が進んでいる。
39	・委託業者との連携を密にすることにより、診療報酬の請求漏れや査定減の防止を図る。	3	3	請求漏れ等の防止に努めていただきたい。
40	・平成24年4月より開始した医療費預かり金制度を推し進めることにより、引き続き未収金とならない対策を講じる。	4	4	
41	・臨戸訪問や弁護士への回収委託などを行うことにより、未収金回収体制を強化する。	3	3	未収金の回収率は良くなっているので、地道に回収していただきたい。
4 魅力的な人事制度の整備				
42	・医師の給与制度を抜本的に見直し、業績評価に応じた人事評価による新しい給与制度を確立する。	4	4	業績評価については面接が非常に大切だと思うので、フォローをしっかりとっていただきたい。
43	・評価と昇任・昇格を連携するなど、年齢や勤続年数にとらわれないトータル人事評価制度の導入を検討する。	2	2	
44	・業績に応じた手当を職員に支給することにより、職員のモチベーションを高め、努力が報われるような制度を確立する。	2	2	運用に注意していただきたい。



NO. (注)	年度計画	法人 評価	評価委員会 評価結果	コメント欄
第3 その他業務運営に関する重要事項			大項目評価	
1 地域医療センター(仮称)の整備			A	
45	・平成25年度は実施設計を行うとともに、着工に向けての準備を行う。	3	3	
2 災害及び感染症流行時等における対応				
46	・災害訓練に参加するとともに、災害派遣医療チーム(DMAT)を研修等に派遣するなど、体制の強化を図る。	4	4	引き続き体制強化を図っていただきたい。
47	・第二種感染症指定医療機関として、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律により入院が必要な感染症患者を受け入れるとともに、新型インフルエンザ等の感染症の流行時においては、市の要請に応じ迅速な対応を行う。	4	4	
3 医療の普及啓発及び情報発信				
48	・市民公開講座やまちの保健室の開催など、市立病院として市民が必要としている医療に関する情報の普及啓発に努めるとともに、ホームページを充実し、広報誌を統合・再整備するなど、引き続き市立病院として市民にも医師・看護師などにも選ばれる病院となるようPRを積極的に行う。	4	4	年々受講者が多くなっている。
第4 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画			大項目評価	
			C	
49	1. 予算、2. 収支計画、3. 資金計画、主な経営指標	2	2	経常収支比率100%を超えるために、引き続き努力していただきたい。